



NetApp Console を使用する

NetApp Console local deployment

NetApp
August 10, 2026

目次

NetApp Console を使用する	1
NetApp Console ローカル展開にログインする	1
NetApp Console ローカル展開でフリートを切り替える	1
NetApp Console ローカル展開のユーザー設定を管理する	2
表示名を変更する	2
多要素認証を設定する	3
MFA 回復コードを再生成する	4
MFA設定を削除する	4
組織の管理者に連絡してください。	4
ダークモード（ダークテーマ）を設定する	4
NetApp Console のローカル展開で NetApp Console アシスタントを使用する	5
コンソールアシスタントでできることを確認する	5
コンソールアシスタントが使用できることを確認してください。	5
コンソールアシスタントに質問するか、アクションをリクエストしてください。	6

NetApp Console を使用する

NetApp Console ローカル展開にログインする

組織管理者からコンソールローカル展開の組織ユーザーアカウントへの招待を受けた後、NetApp Console ローカル展開にサインインできます。ログインするには、ログインに関連付けられているメールアドレスを使用します。

ログインしてもリソースが表示されない場合は、組織の管理者に問い合わせてください。["組織の管理者に問い合わせてください"](#)。

手順

1. Webブラウザを開き、Console のローカル展開がインストールされている IP アドレスにアクセスしてください。
2. 「ログイン」 ページで、ログインに使用しているメールアドレスを入力してください。
3. ログインに関連付けられた認証方法に応じて、資格情報を入力するように求められます。

- メールアドレスとパスワードを使用した NetApp Console アカウント



- MFAが有効になっている場合：パスワードを入力した後、TOTPコード（認証アプリから取得）を入力するか、リカバリコードを使用するように求められます。
- 復旧コードを使用してサインインする場合は、復旧コードの入力画面でUIに表示される順序でコードを使用してください。

+

- メールアドレスとパスワードを使用したActive Directoryアカウント

NetApp Console ローカル展開でフリートを切り替える

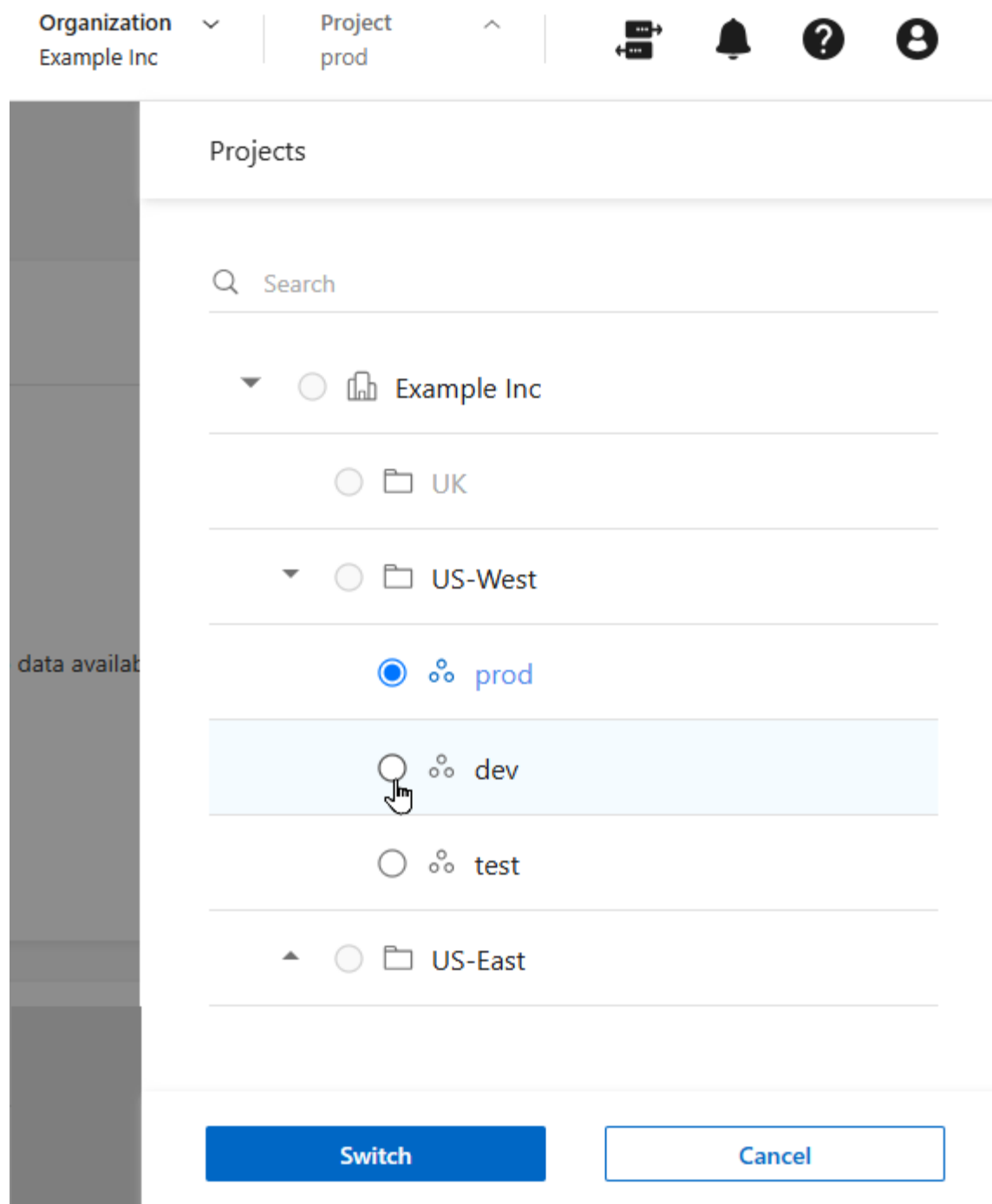
NetApp Console のローカル展開において、複数のフリートにアクセスできる場合は、いつでも切り替えることができます。



「IDとアクセス」 ページを表示している間は、別のフリートに切り替えることはできません。

手順

1. コンソールのローカル展開の上部ヘッダーで、*スコープ*を選択します。
2. 組織内のフリートを参照し、使用するフリートを選択してから、*切り替え*を選択してください。



NetApp Console ローカル展開のユーザー設定を管理する

NetApp Console のローカル展開では、パスワードの変更、多要素認証（MFA）の有効化、コンソール管理者の確認など、Console のローカル展開プロファイルを変更できません。

表示名を変更する

コンソールのローカル展開における表示名を変更できます。この表示名は、他のユーザーに対してお客様を識別するために使用されます。ユーザー名やメールアドレスは変更できません。

手順

1. コンソールのローカル展開画面の右上隅にあるプロフィールアイコンを選択すると、ユーザー設定パネルが表示されます。
2. 自分の名前の横にある **Edit** アイコンを選択してください。
3. 「名前」フィールドに新しい表示名を入力してください。

多要素認証を設定する

NetAppConsole ローカル展開へのログイン時に2つ目の認証方法を必須とすることでセキュリティを強化するために、多要素認証（MFA）を設定します。

NetApp Support Site からサインインするユーザーは、MFA を有効にできません。これがお客様に当てはまる場合、プロフィール設定に MFA を有効にするオプションは表示されません。

ユーザーアカウントをAPIアクセスに使用している場合は、MFAを有効にしないでください。多要素認証が有効になっているユーザーアカウントでは、APIへのアクセスが停止されます。すべてのAPIアクセスにはサービスアカウントを使用してください。



アカウントが認証にActive Directoryまたはその他の統合ディレクトリサービスを使用している場合、Console のローカル展開を通じてアカウントのMFAを設定することはできません。

開始する前に

- お使いのデバイスには、Google AuthenticatorやMicrosoft Authenticatorなどの認証アプリを既にダウンロードしておく必要があります。
- MFAを設定するにはパスワードが必要です。



認証アプリにアクセスできない場合、または復旧コードを紛失した場合は、Console管理者にお問い合わせください。

手順

1. コンソールの右上隅にあるプロフィールアイコンを選択すると、ユーザー設定パネルが表示されます。
2. **Multi-Factor Authentication** の見出しの横にある **Configure** を選択します。
3. 画面の指示に従って、アカウントの多要素認証を設定してください。
4. 完了すると、復旧コードを保存するように求められます。コードをコピーするか、コードを含むテキストファイルをダウンロードするかを選択してください。これらのコードは安全な場所に保管してください。認証アプリへのアクセスを失った場合は、復旧コードが必要になります。



復旧コードを使用してサインインする必要がある場合は、復旧コードの入力画面でUIに表示される順序でコードを使用してください。

MFAを設定すると、コンソールのローカル展開では、ログインするたびに認証アプリからワンタイムコードを入力するよう求められます。

MFA 回復コードを再生成する

復旧コードは一度しか使用できません。紛失した場合は、新しいコードを作成してください。

手順

1. コンソールのローカル展開画面の右上隅にあるプロフィールアイコンを選択すると、ユーザー設定パネルが表示されます。
2. 「Multi-Factor Authentication」ヘッダーの横にある **...** を選択します。
3. 「リカバリーコードの再生成」を選択します。
4. 生成された復旧コードをコピーし、安全な場所に保存してください。

MFA設定を削除する

MFAを削除すると、次回のサインイン時の2段階認証が不要になります。MFAを再度使用するには、ユーザー設定から再度設定する必要があります。



認証アプリまたは復旧コードにアクセスできない場合は、組織の管理者に連絡して MFA の設定をリセットする必要があります。

手順

1. コンソールのローカル展開画面の右上隅にあるプロフィールアイコンを選択すると、ユーザー設定パネルが表示されます。
2. 「Multi-Factor Authentication」ヘッダーの横にある **...** を選択します。
3. *Delete*を選択します。

組織の管理者に連絡してください。

組織の管理者に連絡する必要がある場合は、コンソールから直接メールを送信できます。管理者は、組織内のユーザーアカウントと権限を管理します。



「管理者への連絡」機能を使用するには、ブラウザにデフォルトのメールアプリケーションが設定されている必要があります。

手順

1. コンソールのローカル展開画面の右上隅にあるプロフィールアイコンを選択すると、ユーザー設定パネルが表示されます。
2. 組織の管理者にメールを送信するには、*管理者に連絡*を選択してください。
3. 使用するメールアプリケーションを選択してください。
4. メールを完成させて、*送信*を選択してください。

ダークモード（ダークテーマ）を設定する

コンソールのローカル展開をダークモードで表示するように設定できます。

手順

1. コンソールのローカル展開画面の右上隅にあるプロファイルアイコンを選択すると、ユーザー設定パネルが表示されます。
2. ダークテーマのスライダーを動かして有効にしてください。

NetApp Console のローカル展開で NetApp Console アシスタントを使用する

NetApp Console のローカル展開で NetApp Console アシスタントを使用して、ストレージを管理したり、自然言語で回答を取得したりできます。必要なことを平易な言葉で説明すると、NetApp Console のローカル展開がストレージポリシーとロールベースアクセスの範囲内でそれを実行します。



LLMをコンソールアシスタントに接続してAI機能を有効にする方法に関するこのドキュメントは、技術プレビューとして提供されています。このプレビュー版では、NetApp は一般提供開始前に、提供内容、コンテンツ、およびスケジュールを変更する権利を留保します。

アシスタントの操作は、割り当てられたロールベースのアクセス権によって制限されます。["アクセスロールについて"](#)。

コンソールアシスタントでできることを確認する

コンソールアシスタントは、NetApp Console ローカル展開への自然言語インターフェースです。質問をしたり、タスクを説明したりすると、回答または提案されたアクションが返されます。このアシスタントは以下の機能を提供します：

- ストレージのプロビジョニング ワークロードを平易な言葉で説明します。アシスタントはストレージクラスと配置場所を推奨し、詳細を確認後、ボリュームまたはLUNを作成します。例えば、特定の容量を持つCIFSボリュームを作成するように指示します。アシスタントは、クラスターとストレージ仮想マシン（SVM）を識別し、必要なパラメーターを入力し、ストレージをプロビジョニングします。
- 検索してガイダンスを取得 ストレージ環境に関する質問をしたり、コンソールのローカル展開機能を見つけたり、NetApp ドキュメントおよび現在のフリート状態からコンテキストに応じた回答を取得したりできます。
- アラートの調査 アシスタントにアクティブなアラートを調査するように依頼します。問題点を分析し、解決策を提案するか、お客様の確認を得た上で修復措置を実行します。

アシスタントは、コンソールのローカル展開で管理者が設定したLLMエンドポイントにのみリクエストを送信します。ストレージ変更アクションを実行する前に確認を要求し、すべてのアクションはお客様のアカウントに割り当てられたロールベースのアクセス制御に従います。

コンソールアシスタントが使用できることを確認してください。

- 組織管理者またはスーパー管理者は、大規模言語モデル（LLM）をコンソールのローカル展開に接続することにより、コンソールアシスタントを有効にする必要があります。ダッシュボードに「コンソールアシスタント」ボタンが表示されない場合は、管理者に有効化を依頼してください。詳細については、["LLMを接続してNetApp Consoleアシスタントを有効にする"](#)を参照してください。
- アシスタントに実行させたい操作に必要なロールベースのアクセス制御が設定されていることを確認してください。

コンソールアシスタントに質問するか、アクションをリクエストしてください。

コンソールアシスタントを開き、アクセスモードを選択して、リクエスト内容を説明するプロンプトを入力します。

手順

1. NetApp Console のローカル展開ダッシュボードで、「コンソールアシスタント」ボタンを選択します。
2. アクセスモードを選択してください：
 - 変更を加えることなく質問やガイダンスを受けるには、閲覧専用 を選択してください。
 - アシスタントがストレージインフラストラクチャ上で操作できるようにするには、「読み取り/書き込み」を選択します。
3. 質問やタスクの内容を説明するプロンプトを入力し、*送信*を選択してください。

例：Create a 10GiB volume for home directories named home, and share it with Everyone set to FULL_CONTROL.

4. アシスタントの回答を確認してください。
 - 質問に対して、アシスタントはお客様が対応できる回答を返します。
 - 操作を行う際、アシスタントは推奨される操作を表示し、権限レベルなどの不足している詳細情報を尋ね、その後、実行前に確認を求めます。
5. 操作を確認してください。ボリューム作成などの非同期操作の場合、アシスタントはリクエストを完了するためのジョブを作成します。
6. 依頼内容を確認するには、アシスタントにお問い合わせください。例えば、`Let me know when the job completes`と入力すると、アシスタントは現在のステータスを返します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。